

誰もが「おめでとう」と誕生を祝福され「ありがとう」と看取られる地域づくりマガジン

# えにしふみ

vol.12

2017.11.30

滋賀の縁創造実践センター



P1-4 **特集**

-子どもたちの社会への架け橋づくり-  
「ほっとスポット」

P5-6 連載

P7-8 インタビュー

しがの子を取り巻く縁

ハローわくわく仕事体験記 株式会社和た与  
ようこそ！うちの子ども食堂 きのもと子ども食堂（長浜市）  
フリースペース フリースペースにじ（栗東市）

縁人Voice

社会福祉法人しがらき会信楽青年寮施設長 上田清樹さん  
現場からVoice 社会福祉法人パレット・ミル 井上 崇さん

# 子どもたちの社会への架け橋づくり

# ほっとスポット



滋賀県では約350人の子どもが社会的養護のもとで生活しています。彼らが原則18歳で社会に出て自立の道を歩んでいくとき、寄り添い、支える大人がいる場所「ほっとスポット」がスタートしました。

社会に出た後の厳しい現実…

社会的養護<sup>\*1</sup>のもとで育ち、たったひとりで社会へ出でいく子どもたちは普段の生活の中で仕事やお金のこと、病気のことなど、様々な困りごとに直面することがあります。そうした時に、うまく支援を求めることができず、仕事を辞めてしまったり、借金をしてしまったりということも少なくありません。滋賀の縁創造実践センター「要養護児童の自立支援小委員会」では、そうした時に、彼らが気軽に立ち寄り、相談できる場所の必要性について話し合い、それを具体化するための議論を重ねてきました。

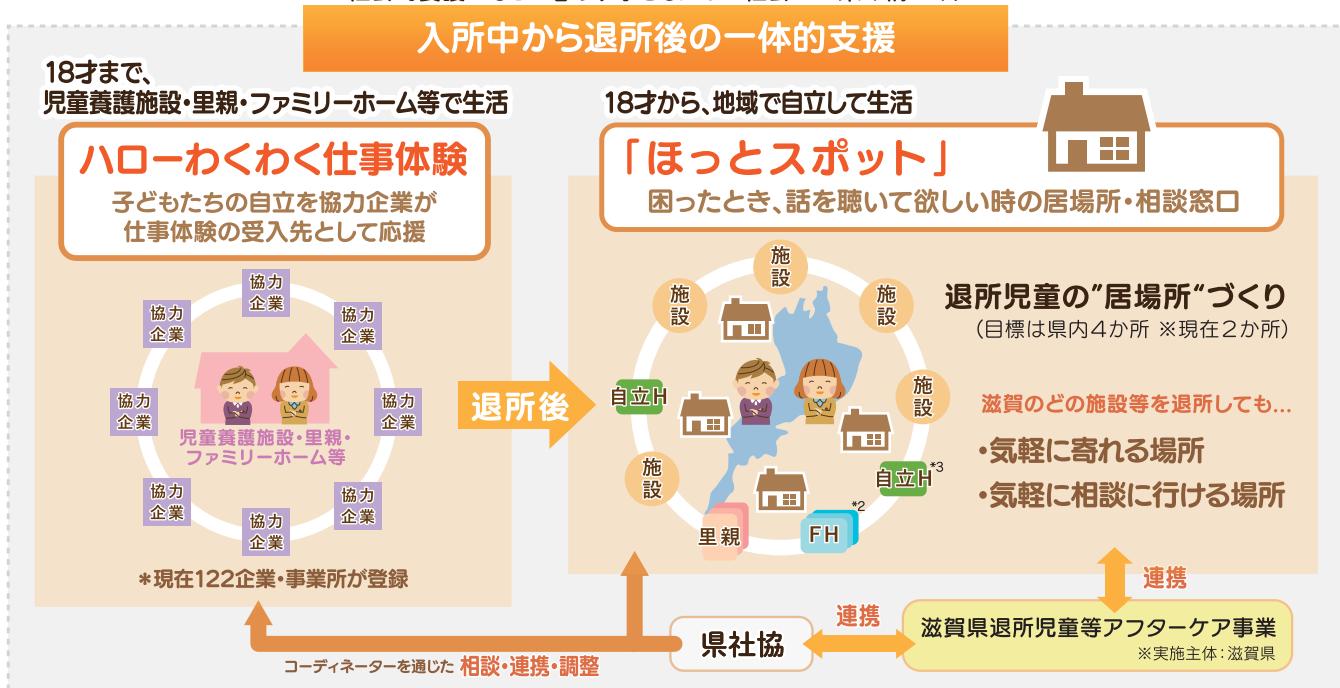
\*1 社会的養護…

保護者のない児童や保護者に監護させることが適当でない児童を児童養護施設、里親制度、ファミリーホーム（小規模住居型児童養育事業）などで社会的に養育すること。

“ほっと”できる、“ホット”あたたかい  
多様な人が安心して過ごせるところ

そうした中、「ほっとスポット 四つ葉カフェ」(守山市/認定NPO法人四つ葉のクローバー)と「ほっとスポット こばと」(大津市/社会福祉法人小鳩会)が始まりました。

「ほっとスポット」は滋賀県内の児童養護施設、児童心理治療施設、里親、ファミリーホームから社会に出た若者であれば誰でも利用することができます。また、施設等に在籍中でも利用できます。一人でほっこり過ごすもよし、若者同士で楽しい時間を過ごすもよし、施設の職員や里親さんと一緒にでも構いません。また、支援者の方だけでも利用できます。それぞれの法人の特徴をいかした、多様な人が安心して過ごすことのできる居場所です。そして、そこには寄り添い耳を傾けてくれる人がいる、それがほっとスポットです。



ほっとスポット

# 四つ葉カフェ

実施主体 認定NPO法人 四つ葉のクローバー  
場 所 守山市守山2丁目15-25夢コート1階  
開設日時 ・毎週水曜日12時から18時  
・事前の相談で随時利用可能

## 提供メニュー

- ・退所準備、個別対応ができる場の提供
- ・飲み物、お菓子、餃子の無料提供
- ・退所者同士の集いの場
- ・情報提供
- など

お問い合わせ TEL:077-584-5688／080-6160-4280  
MAIL: yotubanokuroba2013@yahoo.co.jp



## この子たちの幸せのために 四つ葉のクローバー

四つ葉のクローバー理事長の杉山真智子さんは児童養護施設でボランティアをしていた頃から子どもが退所後、進学や就職しても辞めるなどして、人生につまづく実態を見てきました。そうしたことから社会に出る準備ができる場所や出たあとも帰れる場所が必要だと強く感じ、2013年に四つ葉のクローバーを設立しました。以来、シェアハウスという一時的な住宅支援の取り組みや就労機会の確保のために併設した餃子店で、退所した子どもたちの居場所をつくってきました。今では地域のなかに応援団の輪も広がり、多くのボランティアに支えられています。

## ほっとスポット 四つ葉カフェOPEN！

餃子店をほっとスポット「四つ葉カフェ」としてスタートさせたのが2017年8月。「コーヒーの飲める餃子屋」として、これまでどおり名物である餃子を味わうことができます。若者同士で同じ境遇だからこそ分かち合える気持ちやこれまでの経験などを共有して交流するほか、一人でほっこり過ごすこともできます。



杉山さん(右)  
遠城さん(左)

「四つ葉カフェ」では若者たちのさまざまなニーズに寄り添い、柔軟に対応していきたいと考えています。また里親や施設関係者も情報交換ができる場としても利用できます。

取材の日、四つ葉のクローバーのシェアハウスで半年間生活していた一人の女性が四つ葉カフェを訪れました。「ここにいた頃はうるさく思うことも多かったけど、今は杉山さんには感謝しかない。将来は子どもの自立に関わる仕事をしたい」という彼女の言葉を、杉山さんは少し照れながら、嬉しそうに聞いていました。スタッフの遠城孝幸さんも「この場所に来て、話をしてくれることが何より嬉しいです」と言います。

## 「ほっ」と安心できる ちょっと特別な場所に★ 杉山さんの思い

杉山さんのこうした歩みのきっかけは、ボランティアをしていた頃に「おばちゃんのおうちの子になりたい」と言われたことでした。そして、ある子がくれた四つ葉のクローバーが、幸せにならないといけないのはこの子たちだという思いを強くしたのです。子どもたちは自分だけの特別な人や場所を求めています。「四つ葉カフェ」は始まったばかりですが、来てくれる人がほっと安心できるちょっと特別な場所になりますようにと願いをこめ、杉山さんは子どもたちの幸せを探し続けます。



## ほっとスポット **こばと**

実施主体 社会福祉法人 小鳩会  
場 所 大津市錦織1丁目14-35  
開設日時 ・毎週日曜日14時から18時  
・事前の相談で随時利用可能

### お問い合わせ

#### 提供メニュー

- ・妊娠出産に関する相談
  - ・障害など困りごとに関する相談
  - ・一緒にクッキング
  - ・お話を聞き会
- など

小鳩会本体 TEL:077-522-2785  
小鳩会里親支援 TEL:077-525-0030  
MAIL: kobato-center@softbank.ne.jp

### 実家のような居場所をめざして

「小鳩乳児院」と児童養護施設「小鳩の家」、「こばと子ども家庭支援センター」を運営する社会福祉法人小鳩会は、乳幼児期からの子どもの養育と保護者支援の両輪で社会的養護にかかる子どもたちへの途切れない支援を展開してきました。児童養護施設「小鳩の家」では子どもの歴史をつなぐために担当養育者は代わらないように心がけ、「育ちアルバム」を作成しています。寝返り、お食い初め、つまり立ち、最初の一歩、初めての言葉。子ども自身が視覚的に遡ることができる、生い立ちの克明な記録です。たくさんの大人に見守られ大事にされてきた歩みが自信となり誇りになるようにと願いを込めて、施設を巣立つ際に一人ひとりに手渡します。

小鳩の家だけでなく、県内の社会的養護で育ったすべての子どもたちの“実家”のような居場所をめざして開設したのが「ほっとスポットこばと」です。そこは小鳩会の事務所にほど近い場所にある一軒家です。なんだか懐かしい匂いがすると子どもたちに好評です。施設長の山本朝美さん、養育係長の藤本邦子さん、里親支援担当の大江道子さんの3人がスタッフとして出迎えます。



### 若者を支える存在に

「これまででは巣立った後に帰ってきてくれても、私たちが目の前の仕事に追われてバタバタしていると『忙しいんやろ?ごめんな』と遠慮して帰っていく背中を歯がゆい気持ちで見ることもありました。社会的養護のもとで育った子どもたちは、人に迷惑をかけることに対して敏感になりがちです。ほっとスポットができたことで、県内の子どもたちが遠慮なくここを利用していくんだと思えるし、私たちも職員も安心して『おいで』と声をかけられるようになりました」と山本さんは言います。

「ほっとスポットこばと」は毎週日曜14時～18時、また決まった開所日以外でもLINEなどで希望日を伝えれば、一人ひとりの都合に合わせて開所します。ゴロンと寝転がったり、勝手に冷蔵庫を開けてお茶を飲んだり、当たり前に来られる実家のような場所をめざしています。そして、社会に出た後につまづいてしまう子も多くいる中で、就職や転職、出産や子育て等の人生の大きな場面で困りそうになった時、あるいは困ってしまってもそっと寄り添ってもらえる場所もあります。「行ってみようかな、が行って良かった!になる場所にしたいです」と藤本さんは話します。さらに、「ほっとスポットこばと」は退所児童のコミュニティの構築にも目を向けています。里親支援員として県内の里親のもとで暮らす子どもたちの支援をしている大江さんは「同



## 社会に出た若者たちにとって “安心して寄れる場所” があるということ

これまで児童養護施設「小鳩の家」には、施設に寄る若者の姿が見られました。そんな彼らにとっての“安心して寄れる場所”に対する声を紹介します。

寄ったときは部屋を掃除したりします。遊びに行くといっぱい身体を動かすことができます。普段動かさないので楽しいです。  
22歳 男性

遠くで働いていますが、みんなで集まれるところがあって嬉しいです。普段も行きたいけれど、遠いので行けないのが残念です。  
23歳 男性

みんなと集まったりするのも楽しいのですが、小鳩で生活する年下の子達の相談にのれるのが嬉しいです。  
23歳 男性

ここが唯一、安心してよれるところです。子育てなど、しんどい時に利用します。  
22歳 女性

小さい時に小鳩で大切にしてもらった思い出がずっと自分の中にはあります。子どもが生まれるまえから、生まれたあとも、実家みたいに頼れる場所です。  
18歳 女性

## 子どもたちの巣立ちをサポート 「ほっとスポット」の課題

早くから職業観を育む「ハローーわくわく仕事体験」(P5参照)とともに、「ほっとスポット」は子どもたちの自立を滋賀全体で応援していく取り組みとして、成熟させていきたいと考えています。スタートしたばかりですが、一人でも多くの子どもたちが利用できるよう、入所中からの周知、啓発も丁寧に行っていきます。また、2か所でスタートしましたが、子どもたちが少しでも行きやすい居場所を選択できるよう、さらに増やしていく必要があります。

じ境遇の人と話せる場があることや、明るい先輩の姿に勇気づけられることは、子どもたちにとっても大きな光です」と、子ども同士のつながりが育まれる場としても期待を寄せています。

## ともに悩み寄り添う

ほっとスポットには寄り添い、話に耳を傾けてくれる大人がいます。それが、安心感につながり、次に困った時に、誰かに「助けて」と言えるための経験の一つにもなるのではないかと山本さんたちは考えます。ほっとスポットに“大人”がいることは、とても大きな意味があると言えます。「子どもたちの苦労は決して計り知れませんが、ともに歩み寄り添う、それが大人の責任であり、社会の責任だと思います」。山本さんたちは「ほっとスポットこばと」で新たな一步を踏み出しました。



藤本さん、大江さん、山本さん(左から)

連載

# しがの子を 取り巻く縁

社会の変化とともに、子どもを取り巻く環境も大きく変化しています。子どもにまつわる社会的な課題に対し、縁センターでは、さまざまな角度から取り組みを進めています。この連載では、そうした子どもに関わる現場の様子と思いを紹介します。

## ハローわくわく 仕事体験記

「職場体験でも、子どもでも、お客様には関係ない。店に立つ以上、接客はプロの仕事やで」

近江商人の町・近江八幡で、創業以来150年にわたり伝統のでっち羊羹の味を守る和た与では、ハローわくわく仕事体験で出会う子どもたちに仕事の楽しさはもちろん、厳しさもきちんと伝えます。働くことの責任に、表情をきゅっと引き締める子どもたち。緊張した分、終わった後の達成感はかけがえのない自信になります。「働くことで人は笑顔になる。人は、自分とお客様」これは、ある中高生の体験後の言葉です。大きな成長に、大人たちは驚きと喜びに包まれました。和た与では、これまで6名の中高生と4名の小学生が体験・見学させていただきました。



### ✉ 参加した子どもより (小学生の見学で参加)

でっちようかんを1日に1000個も作っていることにびっくりしました。ようかんを竹の皮で包む作業が本当にむずかしくて、でも楽しかったです。私がつくったものと和た与さんがつくったものは全然違っていて、プロの職人さんはやっぱりすごいなあと実感しました。有名な和た与さんで体験までさせてもらえて嬉しかったです。

児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもたちの自立支援として始まった「ハローわくわく仕事体験」は、4年目を迎めました。この夏休みにもたくさんの方に仕事体験や工場見学をさせていただきました。応援団は現在122企業・事業所が登録! 子どもたちの可能性の輪がどんどん広がっています。

### L ある日のスケジュール

(カフェ 逢茶あまなで接客に挑戦)

10:00～	仕事内容説明 店内清掃・開店準備
11:00～	開店! 接客スタート! 「いらっしゃいませ!」おひ冷、おしぶり運び
12:00～	昼食
13:00～	接客「注文も取ります」
16:00	終了「お疲れ様でした!」

### 受け入れ企業より

僕自身子ども時代にあたたかい環境で育ったことが、大人になった今、つらいときもへこたれん根っこになってると思うから、出会う子どもたちにもせめて子どものうちは幸せであってほしいと思ってるんです。社会的養護のもとで育つことは決してハンデではなく、これからいくらでも強みなどをつくっていけると思うし、微力でも何か応援したいですね。仕事や地域のこと等将来一緒にできたらいいなと思うし、たとえそうならなくとも、ふらっとでも来てもらえるように彼らに何かを残せばいいなあ。彼らの将来を遠くからでも見守れたらうれしいです。

この体験は受け入れると、自分にもスタッフにも店にも、いい影響しかないんです。新しい人が入ると、かっこつけんなんからね(笑)多少気と時間は使うけど、経験できることや自分に返ってくるものに比べたら何ほどのこともない。やらん手はないですね。

だれでも大歓迎です、どんと来てください!



和た与 代表  
小川与志和さん

# どうこそ！ うちの子ども食堂



# きのもと子ども食堂 (長浜市)

「やっぱり、子ども食堂おもろいなあ！」  
地元で採れたお米や野菜を使ってきのもとの大人がつくる、  
きのもとの味！ほっこりごはんに、うれしい声が響きます

地域の食を伝えたい！  
そこからはじまり今はみんなの憩いの場に

地域の食を伝えたいとの思いから開催されている「きのもと子ども食堂」。地域の新旧民生委員児童委員が中心となり、木之本町内の子どもたちの憩いの場として親しまれています。

子どもたちがやりたいことに集中できるように、遊びと学びの場を分けたり、活動を子どもにも保護者にも知つてもらえるよう、夏休みには出張食堂として各小学校を回るなどして、誰でも安心して利用できる環境づくりを行つきました。また、メニューは会議で3か月分決めておき、一斉案内で時短&印刷代節約するなど、小さな工夫の積み重ねも、子ども食堂の取り組みを支えています。



## information

団体名：きのもと子ども食堂  
会 場：木之本福祉ステーション  
(長浜市木之本町千田53)  
日 時：毎月第2木曜日 16:30～19:00  
電話番号：0749-82-5419  
(木之本福祉ステーション)

見守りや声かけが自然と生まれています

「帰りたい…」開始1時間、皆が走り回って遊んでいるなか、ある男の子が泣きながら言いました。代表の高橋律子さんは「どうしたん? こっちで一緒にお話ししよう」と手をつないで別室へ。ゆっくり話を聞くと、遊んでいる最中に突き指してしまい、明日子ども園で行う芋ほりに参加できるか心配になってしまったとのこと。指を冷やしながら、高橋さんは「こうしといたら大丈夫、芋ほりいけるで。こんなふうに自分の困ったこと、悲しいことを話せるのはとってもえらいことやねん。おばちゃんに話してくれてありがとう」と語りかけます。2人の様子に、心配して声をかける子どもたちやスタッフ。「僕が○○君の分もおにぎり握ってあげるで!」食事の時間には、笑顔でおにぎりをほおばる男の子の姿がありました。

# フリースペース



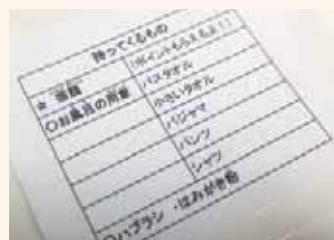
#### 社会福祉施設を利用した子どもの夜の居場所



## フリースペースにじ

施設名：特別養護老人ホームレインボーの里栗東（社会福祉法人彩陽会）  
住所：栗東市小野363番地  
日 時：毎週水曜日 17:00～20:00 小学生3名が参加

今年の7月からスタートした「フリースペースにじ」には、毎週3人の男の子の兄弟が来ています。ボランティアさんと一緒に宿題に取り組んだあと、みんなで夜ごはんを食べて、お風呂に入ります。魚が苦手だった子も、毎週通う中で少しづつ食べられるようになりました。また、宿題を持ってくることを忘れるがちだったので楽しく学んでもらえたらと、持ち物のポイントカードをつくったら効果はてきめん!「最初は不安だったけど、子どもの表情が穏やかになっているのを感じられて嬉しい」「何かあったときに思い出してくれる場になればいいな」そんな思いを施設職員、民生委員、ボランティア、市社協、関わる皆で共有しながら進めています。



縁センターはモデル事業の実践をとおして  
制度のはざまにある課題へのチャレンジを続けてきました。  
何がつくられたのか、そしてこれからの福祉について、  
障害のある人が地域で働き、暮らすことを支え続けてきた上田清樹さんにお話を伺いました。

制度がなかった時代は支援が必要な人に職種や  
地域を越えて皆が協力してできることを見つけ、  
つくってきました。モデル事業に関わった人たち  
が実感したのは福祉の原点でした。

## 制度のはざまへの気づきと福祉の再発見

**谷口** 滋賀の縁創造実践センター（以下、縁センター）のさまざまなお実践にふれた方たちに変化はありましたか？

**上田** 私自身この3年半、縁センターの実践に関わるなかで、制度がない中でも目の前で困っている人をなんとかしたい、自分たちがやらなあかんという思いで工夫してやっていった時代を思い出しました。また、予算もノウハウなども何もなかった昔を知らない現場の若い職員に福祉の使命と役割について啓発する、大変良い機会となりました。制度も支援もあって当たり前の今、「なぜこの支援をしているのか」と考える機会が少なくなりがちです。制度のはざまにいる人を職種や地域の枠を越えて共に支える経験を通して、福祉の原点を顧みることができました。今後はこのような支援を継続し、拡充していくかが課題になるかと思います。

**谷口** 上田さんが施設長をされている信楽青年寮\*は信楽の人たちとの暮らしのさまざまなまじり合いの積み重ねのなかで町の施設、町の人になってこられたのですね。

**上田** 信楽青年寮には全国からさまざまな障がいのある人が利用されています。本当は家に帰りたいけど、家族や地域の事情で帰ることができないケースが多いのです。そこで我々がすべきことは障がいに対する支援だけでよいだろうか、本当に必要な支援とは。そう考えて出した答えは障がいのある人が地域のなかで当たり前に暮らすことであり、信楽のまちに自然に溶け込むことでした。町内すべての人に利用者さんのことを知つてもらうこそが私たちの使命だと思い、この60年余りやってきました。おかげで今では

滋賀県社会福祉法人経営者協議会 副会長  
滋賀の縁創造実践センター 理事  
社会福祉法人しがらき会信楽青年寮 施設長

上田 清樹 さん

お話を伺った  
えにしひと  
縁人



地域のなかに障がいのある人がいることが当たり前になりました。大切なのはサービスの有無ではなく、支援を必要としている人がいることを知る人、支える人がいることです。そうした人づくりが、だれにとっても住みやすいまちづくりへつながっていくのだと思います。

**谷口** 「力になれなくてごめんね」と思いながら、でも何かできることがあるんじゃないかとお家を訪れる。そういう支援者でありたいと教えられました。

**上田** あの人、あの家の困りごとが見えている、でも今助けてと言われてないから「そっとしておこう、それが幸せなんや」と見過ごされがちになるところを「でも、自分やつたら、自分の家族やつたらどんな気持ちだろう?」と話し合うと、皆の視点や雰囲気が変わります。「自分やつたら助けてほしいな。ちょっと声をかけてみよう」と。その思いの輪が、縁の実践へつながったと思います。

**谷口** チャレンジする仲間になったこと、自分もやってみたことで、今まで得られなかつた楽しさが見つかったという声を聞きました。

# 現場から —Voice

井上 崇 さん



社会福祉法人パレット・ミル(栗東市)勤務。自立就労センターパレット・ミル(就労継続支援B型)職業指導員／特定相談支援事業所コネクト相談支援専門員。休日は2人のお子さんと公園へ通うお父さん。

## 一人ひとりのできることを見つめ 気持ちを通わせる

いろんなハンディキャップをもつ人が自立をめざして働く場「パレット・ミル」で、職業指導員として仕事の受注や工程の組み立て等、また「コネクト」では相談支援専門員として、約50名の方のケアプランの作成等を行っています。利用者の皆さん一人ひとりのペースや得意とされることを見つめながら、仕事の内容や作業の方法をどう伝えていくのか…中には親子くらい年上の方にお伝えする場面もあり、悩むことも多いですが、気持ちが通じ合えたときの喜びは大きいです。

## 自らの経験を生かし、働きやすい 環境づくりを目指して

大学卒業後、縁あって京都の工場で指導員として働きはじめ、障害のある人が自分の力で働き、お金を得る場面にふれるこの仕事に魅力を感じました。生活を支える・支えられるではなく、一緒に働くことを通して喜びを分かち合ったり、変化に出会ったりできることがやりがいにつながっています。以前、少し納期の短い幼稚園の遊具づくりに取り組んだことがあったのですが、皆で力をあわせて何とか納期に間に合った時の達成感に満ちた笑顔は今も忘れられません。利用者の皆さんにとってより働きやすい環境をつくっていくことが今の目標です。

## 人の役に立つ、やりがいある仕事

僕は学生時代福祉のことを全く勉強してこなかった人間なので、学生で今少しでも興味のある人は実習等のチャンスを活用していろいろな施設に行ってみてもらいたらと思います。人の役に立てる仕事なので、人が好きな人は是非挑戦されることをお勧めします！

**上田** いろいろな人と出会えたからでしょう。人は人と関わるから互いに学んでいける、それが人間社会の楽しさです。人と関わることが楽しいと思える人が福祉の仕事に向いていると思います。職員には、いつも職場や地域、家庭で出会う人にはっと安心してもらえる人であってほしいと伝えています。

## 心が通じ合った瞬間の大きな喜び

**谷口** 上田施設長のお部屋には、施設の住人さんがよく訪ねてこられますね。

**上田** 障がいをもっている人と心を通わすことは本当に難しいですが、その人一人ひとりに応じたアプローチを探り、時間をかけて付き合い、心が通じ合った瞬間の喜びは大きいです。施設長や支援する側といった立場を超えて、一人の人として関わることが喜びです。そして、私を見た人から「いつも楽しそうですね」と言われると、ことさら嬉しく思います。

**谷口** 最後に、上田さんから後輩の皆さんへの言葉を聞かせてください。

**上田** 信楽青年寮を利用している人は、誰一人自分の意思で来られた人はいません。家庭に勝るものはない。なぜここにおられるのかを忘れてはいけないと、職員に伝えています。その人はどんな人なのか。何を思い、何を望んでおられるのか。その人にとって、全ての障壁を除去することが本当に適切な最善策になり必要なことなのか。その人がもっている「障がい」に対してのアプローチにのみ徹するのではなく、障がいをもっておられるその人自身を「人として」支え続ける身近な安心してもらえる人でありたいと思っています。

\*信楽青年寮

昭和30（1955）年知的障害者更正施設として創設（滋賀県甲賀市信楽町）。生活が閉鎖された特異な施設を開放することで地域住民の意識づけと関心を高め、地域での就労斡旋など入所者が地域に溶け込んで暮らせる取り組みを行ってきた。

聞き手

滋賀の縁創造実践センター所長  
谷口 郁美



# information

インフォメーション  
縁センターからのお知らせ

## イベントレポート

### 今日の出会いを大切なつながりに! フリースペース交流会

現在県内10か所にひろがる社会福祉施設を活用した子どもの夜の居場所「フリースペース」。お互いの活動の共有やつながりづくりを目的に、初めての交流会を11月6日(月)に開催しました。9つのフリースペースの管理人や子どもと関わるワーカー、また子どもをつなぐスクールソーシャルワーカーや居場所づくり小委員会メンバー、市社協、行政等の28名が参加。フリースペースの原点や目的を改めて共有し、それぞれのフリースペースでうまれた喜びや葛藤、現在とこれからについて話し合いました。「毎週続ける中でフリースペース開催日以外にも遊びに来てくれるようになってうれしい」「勉強や生活習慣、どこまで声をかけていいのか悩む」「今後、行政との連携をどのように進めていけるか」「施設に安心して続けてもらえるようにコーディネートするのが社協の役割」等の熱い思いが交わされました。

これらの声を受けて、スクールソーシャルワーカーの上村文子さんは「成果はすぐに目に見えないが、毎週出会いながら親戚の子に少しづつ伝えていくような感覚で関わり続けてもらうことが大切。今日の出会いをきっかけに施設同士もつながり合いながら続けていただけたら」とコメント。互いに語り、学びあい、市町を超えた心強い絆が生まれる場となりました。

#### ~アンケートより~

- ・悩みを共有できて、気持ちが楽になった。
- 定期的にこのような機会をもちたい
- ・フリースペースの必要性を周知できる場がもっと欲しい
- ・早くから実践されている方のお話は説得力があり、大変勉強になった
- ・他のフリースペースの活動の状況を知ることができて参考になった



## イベントレポート

### 新たな出会いは元気の源♡ 待ち人来る?町屋が紡ぐ一期一会 「秋こい♡まちや縁結び」

会員団体・法人に勤務する独身男女の出会いの場づくり企画。今回は9月18日(祝・月)、近江八幡まちや俱楽部・たねや等を舞台に開催。男性14名・女性12名が集い、町屋の趣を楽しむ"まちや歩き"や"写メ大会"を通して交流を深めるなか、史上最多となる6組のカップルが誕生!「同じ職業の人が多く、話が盛り上がった」「普段行かないが、町屋は和風で落ち着く」等の声が届き、イベント終了後も男女を問わず話し込み、盛り上がる姿がありました。ふくしの仲間の幸せ応援企画、次回もご期待ください♡



### 対戦チーム大募集中★縁の志を持った ベースボールチーム「ENISHI+(えにしプラス)」

縁センター企画員メンバー有志により結成した野球チーム。現在20名のチームメンバーが、忙しい合間に縫って月に1回ペースで練習を重ねて、仕事を離れた場でも共に汗を流しています。



対戦や参加を希望される方は、  
事務局までご連絡下さい!  
連絡先:090-6237-3516  
(森井キャプテン携帯)

チームのメンバーも  
募集しています!!

# 滋賀の縁創造実践センター 会員名簿

平成29年11月20日現在

## 団体会員

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会、一般財団法人 滋賀県老人クラブ連合会、一般社団法人 滋賀県介護福祉士会、一般社団法人 滋賀県保育協議会、  
公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会、公益社団法人 滋賀県社会福祉士会、公益社団法人 滋賀県手をつなぐ育成会、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会、  
滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県里親連合会、滋賀県児童福祉入所施設協議会、滋賀県社会福祉法人 経営者協議会、滋賀県障害者自立支援協議会、  
滋賀県民生委員児童委員協議会連合会、滋賀県老人福祉施設協議会、滋賀県市町社会福祉協議会会长会、社会福祉法人 滋賀県視覚障害者福祉協会、  
社会福祉法人 滋賀県母子福祉のぞみ会、医療福祉・在宅看取りの地域創造会議、レイカディアにしの会、滋賀県救護施設協議会、淡海フィランソロピーネット

## 法人会員

【大津】(一財)博愛会、(福)青桐会、(福)穴太福祉会、(福)近江笑生会、(福)近江神宮仁愛会、(福)大石福祉会、(福)大津市社会福祉協議会、(福)大津市社会福祉事業団、  
(福)大津ひかり福祉会、(福)おおみ福祉会、(福)恩徳寺会、(福)華頂会、(福)唐崎福祉会、(福)共生シンフォニー、(福)桐生会、(福)幸寿会、(福)好和会、(福)湖青福祉会、  
(福)小鳩会、(福)滋賀同仁会、(福)志賀福祉会、(福)真盛園、(福)新緑会、(福)夕陽会、(福)膳所福祉会、(福)石光山会、(福)禅心福祉会、(福)せんだん二葉会、(福)つばさ会、  
(福)春風会、(福)琵琶湖愛輪会、(福)美輪湖の家大津、(福)楽樹  
【湖南】(福)あけぼの会、(福)永山会、(福)恩賜財団済生会、(福)恵愛会、(福)湖南会、(福)彩陽会、(福)しあわせ会、(福)慈惠会、(福)すぎのこ保育園、(福)聖優会、  
(福)パレット・ミル、(福)ひかり会、(福)びわこ学園、(福)みのり、(福)守山市社会福祉協議会、(福)守山向日葵会、(福)野洲慈恵会、(福)野洲市社会福祉協議会、(福)友愛、  
(福)よづば会、(福)栗東市社会福祉協議会、(福)良友会、(特非)草津市心身障害児者連絡協議会、(特非)ものわざカフェの仲間たち  
【甲賀】(福)あいの土山福祉会、(福)芦穂会、(福)近江いろいろ会、(福)近江和順会、(福)大木会、(福)おなご会、(福)甲賀会、(福)甲賀学園、(福)甲賀市社会福祉協議会、  
(福)甲南会、(福)湖南市社会福祉協議会、(福)さわらび福祉会、(福)しがらき会、(福)信楽福祉会、(福)天地会、(福)八起会、(福)ひまわり会、(特非)NPOワイワイあほしクラブ  
【東近江】(福)阿育会、(福)一善会、(福)近江兄弟社地塙会、(福)近江八幡市社会福祉協議会、(福)グロー～生きることが光になる～、(福)恵泉会、(福)湖東会、  
(福)さらく会、(福)サルビア会、(福)慈照会、(福)真寿会、(福)布引会、(福)八宮会、(福)八幸会、(福)万松会、(福)東近江市社会福祉協議会、(福)日野町社会福祉協議会、  
(福)日野友愛会、(福)ほのぼの会、(福)めぐみ会、(福)雪野会、(福)竜王町社会福祉協議会、(福)六心会  
【湖東】(福)愛荘町社会福祉協議会、(福)あすなろ福祉会、(福)近江ふるさと会、(福)甲良町社会福祉協議会、(福)さざなみ会、(福)さざなみ学園、(福)椎の実会、  
(福)慈水会、(福)白露会、(福)大樹会、(福)多賀町社会福祉協議会、(福)稻朋会、(福)豊郷町社会福祉協議会、(福)ソゾミ会、(福)彦根市社会福祉協議会、(福)彦根福祉会、  
(福)ふたば会、(福)みづほ会、(福)三つ和会、(福)ゆたか会、(福)若葉会  
【湖北】(福)柏葉会、(福)カトリック京都司教区カリタス会、(福)光寿会、(福)公悠会、(福)湖北真幸会、(福)青祥会、(福)尊徳会、(福)達真会、(福)長浜市社会福祉協議会、  
(福)ははのくに、(福)米原市社会福祉協議会、(福)まんてん  
【高島】(福)大阪自彌館、(福)光養会、(福)新旭みのり会、(福)たかしま会、(福)高島市社会福祉協議会、(福)虹の会、(福)はこぶね会、(福)ゆたか会  
【県域】(福)滋賀県社会福祉協議会

## 個人会員

上野谷 加代子、故 山辺 朗子、上西 祥之、廣田 敬史、大谷 雅代、宮本 育子、前阪 良憲、疋田 由香里、上村 文子、尾畠 聰英、山元 浩美、北居 理恵、  
松本 敦三、森本 美絵、奥田 与嗣男、西村 孝実、中根 超信、村上 浩世、平井 佑希

## 賛助会員

元三フード株式会社、総本山西教寺、株式会社なんてん共創サービス、大津市仏教会、滋賀県仏教会、一般社団法人きれいや総研 滋賀中央センター、  
株式会社彩生舎

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

## 保険金額

保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金	1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術 65,000円	外来の手術 32,500円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	

## 年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険



(※)天災タイプでは、天災(地震・噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

## 保険金をお支払いする主な例



## ボランティア行事用保険 送迎サービス補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

## 団体契約者

## 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3 を除きます。）

## 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
営業時間：平日の9:30～17:30 (12/29～1/3 を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒に締結する団体契約です。

(SJNK16-16921 2017.2.3 作成)

## 滋賀の縁創造実践センターとは



[えにしちゃん]

分野や所属を越えた福祉関係者の集まりです。滋賀に暮らすだれもが「おめでとう」と誕生を祝福され、「ありがとう」と看取られるまで、生き生きと地域のなかで暮らすことを支える実践をすすめています。

## お問い合わせ

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県社会福祉協議会内

[ Tel ] 077-569-4650 [ Fax ] 077-567-5160

[ Mail ] enishi@shigashakyo.jp

[ HP ] <http://www.shiga-enishi.jp>

[ Facebook ] <http://www.facebook.com/shiganoenishi/>